

2015年(平成27年)
3月25日 第3号

西公カラハイ事業
豆記者部会 発行

西公 カラハイ 豆記者 NKM新聞

発行責任者
大西区 区長
比嘉直彦
Tel.0980 (52) 4630

豆記者募集中! 書記「宮城さとみ」まで連絡ください。
oonishi@pbh.city.nago.okinawa.jp

町なかのびととした学校へ

設計にこだわりました

市長、設計士に聞く

名護小新校舎

【名護小新校舎取材班】私達NKMメンバーが毎日通う名護小学校は現在新校舎を建設している最中です。学校がどのように建て替えられていくのか。その過程を今回調べてみました。

名護小の新校舎建設計画は2013年12月から始まり、今年2月から工事が行われていきます。新校舎建設について、稲嶺進市長とナカソネ設計事務所の仲宗根徹さんの2人にお話を聞きました。稲嶺市長には、名護小を建て替える理由と建設の際の財源について聞きました。1981年以前に建てられた校舎は耐震性の問題上、早急に建て替えるべき法律で定められてお

模型を使って説明する稲嶺市長



り、PTAの皆さんと協力して新校舎建設に向けて動いてきたこと、建て替え費用の70%は国の補助で賄われていることを教えてもらいました。稲嶺市長は、明るくもっと勉強しやすい素敵な環境を作りたい」と述べた後に、プレハブ工事等は危険なので工事がスムーズに行えるよう上級生に協力してほしいと呼びかけていました。次に、名護小の設計・建設に大きく携わっているナカソネ設計事務所の仲宗根さんに建設にあたっての工夫等を聞きました。図書館はゆとりを持って調べ学習や読書をするコーナーが設けられ、現在よりも約1.5倍本を増やすそうです。低学年の生徒達が通いやすいように1階に建設する事も教えてくれました。仲宗根さ

んが新校舎建設で力を入れていた部分としてトイレが挙げられていました。いじめのないようにワイワイ遊べる居心地の良いトイレを目指して、トイレ内を明るくするために赤い壁を用いたり、円形の洗い場を設けたりする等の工夫を教えてくださいました。また、新校舎の中心の屋根は鳥の巣をモチーフとして作られていて、これは名護小学生が様々な方向へ羽ばたいてほしいという意味を込めている」と教えてくれました。新校舎は2016年3月完成予定だそうです。

感想

私は初めて稲嶺市長に新校舎の建て直しについて取材をして、とても緊張しました。でも、稲嶺市長がとても優しい顔だったので、緊張がほぐれてリラックスして取材出来てよかったです。 嶋袋碧海 名護小5年生



仲宗根さんにインタビューした時、学校を作る時は子ども達のがにたくさん苦労していることが分かりました。稲嶺市長にインタビューした時に、最初は緊張してあまり写真が撮れなかったけど、最後には模型の写真も撮れたので良かったです。 奥原汐音 名護小5年生

私が稲嶺市長に取材してすごいと思ったことは、私達の為にどのように作るか、どのようにしたら子ども達が喜ぶのか丁寧な教えてくださいました。仲宗根さんからはトイレでいじめられる事がないように明るいトイレを作る為の工夫を聞いてとても感動しました。新校舎ができたら大切にしたいと思いました。 宮城麻都 名護小5年生

私は今回市長さんに取材して新しい校舎などの工夫を聞くことができて良かったです。 大城美来 名護小5年生

新校舎の工夫等について説明する仲宗根さん



たです。また、新校舎を設計した仲宗根さんに取材して新校舎の中央の鳥の巣の形には私達名護小の子供達に飛び立ってほしいという大事な意味が込められていることが分かったので良かったです。 宮城葉 名護小5年生



伊平屋通信

自然の美しさに感動

“神秘的”クマヤ洞窟

私は、去年まで大西区8班に住んでいた千葉成南美です。今は、伊平屋島にいます。父と母の転勤で、沖縄県最北端の島に引っ越してきました。今帰仁の運天港からは、フェリーで約80分で、約41kmの位置にあ

ります。この島に来て、もう一年が経とうとしています。私は今パレオ部に入り、頑張っています。伊平屋島は、トトロが出そうなくらい自然が豊かで、地域の

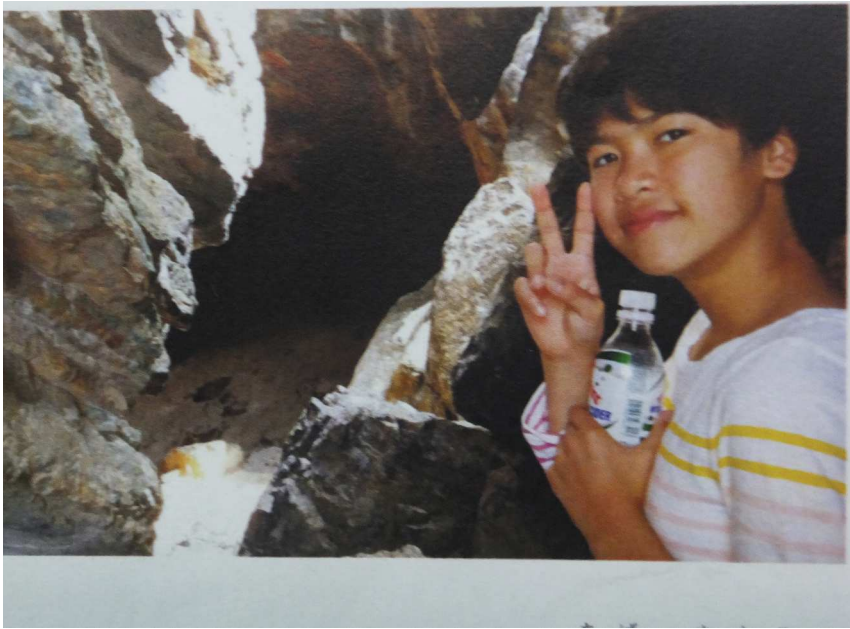
人みんなが仲良しな島です。平成27年2月現在、伊平屋村の人口は1,316人です。ここでは数々ある伊平屋の名所を皆さんに紹介していきます。記念すべき第1回目は、「クマヤ洞窟」です。

伊平屋の名所紹介①クマヤ洞窟 くまやどうくつ 票指定天然記念物

天照大神ゆかりの天の岩戸伝説。その場所が伊平屋島にあると、江戸時代の学者、藤井貞幹が唱えた場所がクマヤ洞窟。入り口はとても狭いのに、中は大きな空洞になっています。プチ感想…この島に来て3〜4回程訪れしましたが、訪れる度に神秘的な気持ちになりました。

子ども目線の「HEYA」の常識

① 公民館の近くに大きな遊具がある。 ② すれ違う人みんなにあいさつする。 ③ 朝は集団登校する。 ④ 毎月第3水曜日は弁当の日&伝統文化学習の日。 ⑤ 午前6時半に毎日「ラジオ体操」が島全体に流れる。伊平屋小5年千葉成南美、2年千葉成夏特派員



伊平屋小5年 千葉成南美

豆記者写真直館



伊平屋小学校2年千葉 成夏



新校舎イメージ



興味津々な豆記者メンバー



新校舎の模型

大西の元気伝えます

こんにちは。私たちは大西区を中心として活動しているNKM 西公カラハイ豆記者一部会です。毎週土曜日に西区の子供たちが集まって、感心・興味のある事を挙げて調査し、一つの作品として新聞に仕上げていく。という活動を行っています。この活動を通して、西区の皆さんだけに留まらず名護市で活躍する様々な人々と交流し、暖かい声援をいただいで第三回のNKM新聞を発行することができました。色々なことに興味をもって調べたいけど、どの

ように行っていくかわからない方や新聞作成に興味のある方は非一度NKMへ見学に来てみませんか。毎週一生懸命テーマに向かい合うNKMメンバーと一緒に一つの作品を仕上げてみませんか。新メンバー大歓迎です。



NKM豆記者 私たちがつくりました

- 会員番号1 宮城葉 (名護小5年)
- 会員番号4 宮城麻都 (名護小5年)
- 会員番号7 奥原汐音 (名護小5年)

- 会員番号2 千葉成南美 (伊平屋小5年)
- 会員番号5 千葉せいか (伊平屋小2年)
- 会員番号8 嶋袋 碧海 (名護小5年)

- 会員番号3 濱川このは (名護小5年)
- 会員番号6 大城美来 (名護小5年)

メンバー募集中